

クリーンなイメージと リサイクルアップを目指して



サンコーリサイクル株式会社
(愛知県東海市)

金田代表取締役

社長自らの設計で今年6月に新築されたばかりの事務所社屋は、ミーティングルームや汚泥の成分分析を行う分析室を備え、フレッシュな感覚が随所に活かされています。名古屋市から至便のよい中間処理プラントを持つサンコーリサイクル株式会社を訪ね、金田社長に最新の中間処理設備や、リサイクルに向けた熱い思いをお聞きしました。

— まず会社設立の経緯から教えてください。
金田代表取締役（以下金田に略）【会社設立は平成5年ですから、まだ若い会社です。以前は父の経営する三洲土木に在籍していたのですが、平成4年の廃棄物処理法改正に伴い、これからさらにニーズが高まってくると思われる建設汚泥の中間処理に新規参入しました。】

— 事業内容についてお聞かせください。

金田【当社は近辺では2番目くらいの処理能力を誇っています。分級処理で建設汚泥を砂利と砂に分けて、有価物を取り出した後、脱水処理をしています。リサイクルして原料にすることが中間処理施設の使命だと思いますね。脱水で出てきた水も洗浄用として再利用したりしていますが、それでもリサイクル率は30~40%くらいです。】

— 中間処理をするうえにおいて、苦勞していることなどはありますか？

金田【脱水施設の技術的な面ですが、産業廃棄物だけに品質が一定ではないものですから、分析室で成分を見極めてから処理するという手順をふみます。環境に影響を及ぼさないための配慮も必要ですから、月に1回くらい溶出試験を行っていき、いわゆる水銀など、有毒物が混入していないかどうかのチェックも行ってい

ます。脱水ケーキの再利用にはまだまだ可能性があると思うのですが、なかなか需要に結び付かないので、この点が今後の課題です。】

— セールスポイントとしてはどういったものがあるでしょうか？

金田【名古屋市内から近い中間処理施設として立地条件に恵まれていますね。また処理能力の高い最新鋭の脱水機（フィルタープレス）を備えていますので、効率のいい処理には自信を持っています。】

— 日頃、座右の銘にしている言葉を教えてください。

金田【社訓にもなっていますが、「従業員が笑顔で働けるような会社になりたい」ということです。法に合った業務を行うことが笑顔にも繋がります。】



社名/サンコーリサイクル株式会社 所在地/愛知県東海市名和町二ノ下11-1
代表者/金田英和 創業/平成5年 従業員/18名 TEL052-601-8883
事業所/本社
営業種別/中間処理(分級・天日乾燥) 取扱品目/汚泥